

2019年7月18日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Oracle Cloudとの連携を強化する接続サービスを開始 データセンターの接続拡充でマルチクラウド利用を促進

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、企業のマルチクラウド利用での更なる利便性の向上を目的に、CTCのデータセンターとOracle Cloudのデータセンター間を占有型の高速ネットワークによって閉域接続し、Oracle Cloudを活用したマルチクラウド連携を強化しました。TechnoCUVIC、CUVICmc2といったCTCのクラウドサービスやデータセンターサービスを利用するお客様を中心に展開していきます。

デジタル社会の急速な発達によってシステムの多様化が進み、オンプレミスとクラウドを併用するマルチクラウドの利用が増加しています。CTCはお客様のニーズに応じて、データセンターをアマゾン ウェブ サービス(AWS)やGoogle Cloud Platform(GCP)、Microsoft Azureと閉域網で接続するサービス「CTC Cloud Connect」を提供し、独自のクラウド提供と併せて企業のマルチクラウド利用を支援してきました。また、2018年11月からはオンプレミスを含むマルチクラウド環境のインフラ基盤と運用支援サービスを一元的に提供する統合プラットフォーム「'CUVIC' Managed Multi-Cloud Platform(以下:'CUVIC' MMCP)」も提供しています。

Oracle Cloudは、IaaSからSaaSまでを統合した企業向けのクラウドサービスとして、Oracle Databaseを含めた各サービスの高いパフォーマンスや高可用性などが特徴で、今回、お客様の更なる利便性の向上を目的に「CTC Cloud Connect」にOracle Cloudとの高速接続サービス「CTC Cloud Connect for Oracle Cloud」を追加しました。5月に開設されたOracle Cloudデータセンターの東京リージョンと直接連携することで、セキュリティを確保しつつ高速かつ安定的にデータの移行やオンプレミスとクラウドの併用が実現できます。

CTCは、長年に渡るオラクル製品を活用した大規模なシステム構築・運用の実績があり、システムのマルチクラウド化に伴い、Oracle Cloudを利用したシステム構築や、データ移行、システム連携、運用支援などのサービスを提供します。また、高速化を含めたチューニングが自動化された自律型データベース「Oracle Autonomous Database」とBIツールのTableauを活用した分析支援サービスも併せて開始します。

※ OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

※ 記載されている商品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp